



自己点検・自己評価結果及び学校関係者評価委員会の学校評価結果の公表（令和5年度）

学校法人中九州学園（出水・白山・画図幼稚園）

1. 建学の精神・教育理念・教育方針・教育目標・目指す教師像

建学の精神	一人ひとりの幼児の無限に近い可能性を信じ、その可能性に希望の火を点じ、その火が永久に燃えるようにとの願いを込めた幼児教育・保育を行う。
教育・保育理念	○どの子どもにも・・・分け隔てなくすべての幼児に ○よい環境で・・・安心して遊べるぬくもりのある環境で ○よい教師による・・・質の高い教師による（目指す教師像） ○よい教育・保育を行う・・・一人ひとりの能力に応じた教育・保育を行う
教育・保育方針	1. すべての幼児に門戸を開き、その能力に応じた教育・保育を行う。 2. 一人ひとりの幼児の人格を尊重した教育・保育を行う。 3. 徒歩通園（歩くこと）を重視した教育・保育を行う。 4. 健常児と特別な支援が必要な子どもが共に育つ統合教育・保育を行う。 5. 地域社会に密着した教育・保育を行う。
教育・保育目標（目指す幼児像）	○知・徳・体の調和のとれた人間を育てます。 個性豊かで思考力に富む人間（知） 豊かな情操とたくましい意欲をもつ人間（徳） 明るく、強く、おおらかな人間（体）
目指す教師像	1. 人情のある教師 2. 子どもといっしょに遊び得る教師 3. 人間の偉大さを知る教師 4. 自然を愛し、自然に興味をもつ教師 5. 子どもの僕たり得る教師 6. 創造的な教師 7. 子どもと同じ目の高さになれる教師 8. 幼児教育の専門的な目をもつ教師 9. 一人ひとりの幼児をみつめる努力をする教師 10. 公平無私の教師

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

国や県や私立幼稚園連合会などが主催する研修会に積極的に参加するとともに、自園の教育課程や指導計画の内容を見直し改善し、教職員の共通理解をはかり、教育・保育の質を高める。

本園の教育・保育理念や方針等を保護者に話すとともに、保護者のニーズや本園の教育・保育に対する意見や助言を聞き、本園としての中・長期のビジョンを明確にしていく。施設設備の改善・充実を図り、安全な幼稚園環境の整備に努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の精神を踏まえ、園の教育・保育理念、教育・保育方針にしたがい編成している。	幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の説明会や研修会に、全教員が参加し、教職員の共通理解をはかり、教育課程や保育課程、指導計画の見直しと編成を行っている。
教育要領、保育要領、教育・保育課程、子どもの実態などをもとに考えている。	毎年、学期の終わりに、年間の指導計画の見直しを行い、幼児の実態に即した内容にしている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は一人ひとりの日々の活動や記録から幼児の実態を把握し、日案の作成に反映させている。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の精神を踏まえ、園の教育・保育理念、教育・保育方針にしたがい編成している。	幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の説明会や研修会に、全教員が参加し、教職員の共通理解をはかり、教育課程や保育課程、指導計画の見直しと編成を行っている。
教育要領、保育要領、教育・保育課程、子どもの実態などをもとに考えている。	毎年、学期の終わりに、年間の指導計画の見直しを行い、幼児の実態に即した内容にしている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は一人ひとりの日々の活動や記録から幼児の実態を把握し、日案の作成に反映させている。
各クラスの状況の把握	毎日の教職員の打ち合わせの時間、さらには毎週行っている職員会議の時間に情報の交流を密に行っている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	毎日教職員で話し合いをもち、全教職員が一人ひとりの幼児について共通理解がもてるようにしている。クラスや学年の枠を超えて全教職員で一人ひとりの幼児を支援している。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	幼稚園の環境構成については全教職員で話し合い、幼児が自分で工夫して遊び、それが発展して互いの特性を活かし合いながら友達と協力して遊べるようにしている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの一日の流れの中で、身につけて欲しい生活習慣の指導と実践を行っている。
全教職員がお互いの教育・保育を観察し勉強できるようにしている。	他のクラスや姉妹園のクラスを見学したり、熊本市私立幼稚園協会や熊本大学附属幼稚園が開催する公開保育などに参加して、その報告会を開き、より良い教育が行えるようにしている。
各研修会や研究会に積極的に参加して教職員に資料提供している。	国、県、市、全日本私立幼稚園連合会などが主催する各種の研修会に積極的に参加し、報告書の作成を行うとともに職員会議でも情報を提供し、学んだことを共有化できるようにしている。幼稚園も研修のための経済的な支援に力を入れている。
園便りや合同研修会をとおして幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取組を毎週のお便りに記載している。姉妹園との情報の交流や合同の勉強会を行っている。
教育・保育目標や短期経営目標と連鎖した評価項目を作成。実施・反省・対応のサイクルを確立する。	PDCAサイクルを念頭に置き、さらに充実したきょういくになるように配慮している。 P=Plan計画、D=Do実行（実施）、C=Check、評価、A=Act改善（処置）
特別支援教育・保育	一人ひとりの幼児のニーズに対応した支援を行い、個別の指導計画・教育支援計画も作成している。外部の療育関係の機関との連携も積極的に行っている。
預かり保育	通常保育後に幼児に無理がない範囲で一時預かり保育を行い、保護者のニーズに応えている。また、長期休暇中も一時預かり保育を朝8時から午後6時30分まで実施している。
子育て支援	3園とも子育て支援として、月に2-3回未就園児の親子を対象にして「おやこひろば」を開催し、親と子どもがともに育つ場を無料で提供している。 また、3園とも常時園庭を開放し、未就園児と保護者の遊びと交流の場を提供している。
安全管理・飲料水の検査	日々の遊具等の安全点検の他に年に一回（8月）専門の業者による安全点検も実施し、子どもたちが安心、安全に遊べる環境になるようにしている。 飲料水の検査は、毎年4月に熊本県薬剤師協会にお願いしている。
教育・保育環境整備	施設や設備の安全・維持管理のための点検を長期休暇中に行っている。空気清浄機とエアコンを全教室に設置している。 AEDも園に常備されている。
園に対する保護者の気持の把握	幼稚園の教育や行事に対して保護者から感想や意見をいただくようにしている。また、担任と保護者間に連絡帳があり、いつでもご意見をいただけるようになっている。
園の財務状況	借入金はなく、毎年公認会計士と幼稚園の監査員より監査を受け適正に処理されているとの報告を受けている。
情報提供 保護者との連携	園便りや学級便りさらには各家庭との連絡帳などにより情報の提供をはかっている。 毎日の送り迎えの時間に積極的に保護者との会話をし、互いの情報の交流に努めている。 また、園のホームページでは最新の情報の提供、安全安心メールでは緊急の連絡等を行っている。毎年4月には「園からのお知らせの綴り」を配布して幼稚園教育・保育や園の方針等を紹介している。
園児募集	子どもの視点に立った本園の教育理念・方針、そしてお弁当の大切さをわかりやすく保護者

園児募集	子どもの視点に立った本園の教育理念・方針、そしてお弁当の大切さをわかりやすく保護者に話すことの重要性を感じた。特に新入園児の保護者の方にその意義を理解してもらうよう園児の保護者の感想を含めたパンフレットを作成した。
------	---

4. 自己点検・自己評価による具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
良好	<p>教師一人ひとりが学校評価の趣旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んだ。今後も客観的な目で自らの教育・保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染を防ぐため教職員一同力を合わせて様々な取り組みを行い、子どもたちが安全・安心して過ごせるようにした。</p> <p>施設面では理事長が中心となって環境整備に力を入れ、また教職員も日々の遊具等の安全点検を行い、さらに年に一回の専門の業者の安全点検も実施して、子どもたちが安全・安心に遊べる環境になるように努力した。</p> <p>保護者からの学校評価はとても良かったが、いくつかの改善が好ましいと思われる助言については本園の教育・保育方針とも照らし合わせながら前向きに進めていきたい。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
中九州学園の教育・保育の理解の推進	出水、白山、画図幼稚園の教育・保育については保護者の皆様から良好な評価を得ているので、在園児以外の方への情報発信を進めていきたい。
自己点検、自己評価	毎年3月末に各教職員が自己点検、自己評価を行い、それを元に全員で話し合いをしているが、その結果が次年度の幼児教育・保育に活かされるようさらに努力する。
指導計画の編成	教育課程や指導計画の見直しは年に3回行っている。本年度も指導計画の改善・作成のために、訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や幼児の実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。
教育・保育環境整備	園舎、設備、遊具、栽培園、野外保育所などの環境整備にをさらに充実していきたい。
本学園の各種取り組みの理由の説明	なぜ先回り教育ではなく、幼児期にふさわしい教育が大切か？ 保育料はなぜ口座引き落としではないか？ その他

6. 学校関係者評価委員会の評価結果

(保護者からのご意見やご感想と本学園教職員の自己点検・自己評価をもとに、7名の委員から構成される委員会の意見)

開催日	結果	意見
令和6年5月12日	良好	<p>中九州学園では3園（出水・白山・画図）とも幼稚園の衛生・安全管理や環境整備に積極的に取り組まれている。学校内科医、歯科医、薬剤師、獣医師も委託され安心・安全で健康的な教育・保育環境の整備に努力されている。</p> <p>教職員の自己点検・自己評価も毎年なされ、教職員が使命感と情熱をもって幼児教育・保育に取り組んでいることがわかる。</p> <p>3園（出水・白山・画図幼稚園）とも特別支援教育や未就園児の親子を対象とした幼稚園の開放も積極的に行われ、地域における幼児教育・保育のセンター的役割も果たしている。幼小連携も積極的に取り組まれている。</p> <p>委員会全員の一致した意見として、とても良好な幼児教育・保育がおこなわれていると評価されたが、園児数の減少が続いているので注視していく必要がある。</p>

(学校関係者評価委員会)

- ① 保護者： 保護者のご意見等は、常時設置しているご意見箱、保護者と園の連絡帳、行事後の感想等による。
- ② 地域の人・保護者： 3名
- ③ 学識有識者： 4名

オブザーバー： 園長及び理事